

令和元年度第2回労働者安全衛生対策部会
(10月10日開催)での部会中議論についての回答

	疑義・コメント	回答【東京電力ホールディングス株式会社】
1	<p>資料3</p> <p>2018年度の安全活動の評価について、具体的にどのような内容を評価し、2019年度の策定方針に反映したのか見えない。 (岡嶋専門委員)</p> <p>例 安全管理のスキルの習得について</p> <p>2019年度の安全管理確認チェックシートの改定を行っているが、2018年度の具体的にどのような評価に基づき行われたものなのか。</p>	<p>2018年度に発生した災害では、以下の要因があげられました。</p> <p>①危険箇所の除去・区画の未実施(物的要因) ②手順の確認不足・不遵守(管理的要因)</p> <p>これらは、工事監理員の関与が十分でなかったものとして、工事監理員のやるべきことを「安全管理確認チェックシート」に反映したものです。</p>
2	<p>資料5</p> <p>エコシステムへの投稿件数は何件あるのか。(兼本専門委員)</p>	<p>2019年度上期実績は64件です。</p> <p>その意見の内訳については次の通り</p> <p>(1)職場環境 22件, (2)作業環境 17件 (3)ルール指摘 8件, (4)マナーモラル 7件 (5)修理依頼 7件, (6)その他 3件</p>
3	<p>資料5</p> <p>安全衛生推進協議会が具体的にどのような働きをして、どのように問題を改善しているかを県民に見えるようにしていただきたい。 (長谷川専門委員)</p>	<p>弊社と協力企業が一体となり、災害発生や放射線管理等に関する事項について、連絡・協議・情報共有を行い廃炉作業を安全に進めていくものとして活動。今後はその活動実績について本部会を通じて紹介していきたいと考えます。</p> <p>2019年度主な活動実績</p> <p><安全衛生推進協議会> 毎月2回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定例会 2019年4月～12月 計18回 災害発生状況の説明・注意喚起など ・臨時会 2019年8月、11月 計2回 労災隠し事案に伴う再発防止の周知・徹底ほか <p><安全会議> 2か月に1回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2019年度 計5回実施 「TBM-KYを充実させて、人身災害ゼロを目指す」ほかについて討議
4	<p>(1)マスク洗浄システムイメージ図</p> <p>マスク洗浄をする際、水が作業員の目にかかるように感じるが、目を保護するためのゴーグルなどの着用基準はあるのか。</p> <p>ない場合には、目に当たらないような処置が必要であると思う。(宍戸専門委員)</p>	<p>マスク洗浄を行う全ての作業員について、目を保護するために、眼鏡またはゴーグルの着用するように定めています。</p>